

オープンデータで地域をつなぐ観光クラウド

「Webルートガイドサービス」は、自治体の保有するきめ細かな観光情報をオープンデータとして活用したもので、「Webルートガイドサービス」のみならず、地域の様々な観光情報サービスと連携する観光クラウド。全国13県50団体の観光サイトなどで提供されている。

背景

2010年12月、東北新幹線新青森駅開業にあたり、青森県では旅行者の車での円滑な周遊への支援態勢や、知られていない地域の魅力の発信などが課題となっていた。その解決のため(株)富士通システムズ・イーストでは、車での周遊ルート計画を支援する「Webルートガイドサービス」を開発し、観光クラウドとして地域協働での利用を開始した。

概要

- 「Webルートガイドサービス」は、自治体等の観光サイトから行きたい観光スポットをいくつか選択するだけで、車での最短ルートでの訪問順序や走行時間・走行距離を自動計算し、電子地図上にそのルートを展開する。
- 名所のみならずルート周辺にある埋もれた地域の魅力を浮上させ、旅行者の多様なニーズを満足させる大小おさまった立体的な旅行計画づくりをサポートする。
- 提供する観光コンテンツは自治体の保有する観光情報をオープンデータとして活用することで、地域ならではのきめ細かな情報提供とサービスコストの低廉化を実現。
- 観光情報は「Webルートガイドサービス」のみならず、地域の様々な観光情報サービスと連携する地域のオープンデータ連携プラットフォームとしての役割を担っている。

アピール
ポイント

- 自治体の保有するきめ細かな観光情報をオープンデータとして活用することで、個人化する旅行者のきめ細かな情報ニーズに対応。地域の埋もれた魅力を発見する楽しみや、見知らぬ土地を巡る安全安心な旅を支援している。
- クラウド化とオープンデータ活用により低廉化し、全国13県50団体の観光サイトやレンタカー会社窓口での観光情報サービスとして提供するなど、全国の観光地の情報化に貢献。
- 官民協働で推進する観光振興モデルとして、平成23年度内閣府「新しい公共」の推奨事例として選定。
- 『新しい公共支援事業新しい公共の場づくりのためのモデル事業 取組事例集』「着地型地域情報発信体制の整備【青森県】」として掲載
<http://www5.cao.go.jp/npc/unei/24n6kai/shiryou4.pdf>
- 広く普及展開された地域情報化の優良事例として総務省ホームページに掲載。
http://www.soumu.go.jp/main_sosiki/joho_tsusin/top/local_support/ict/promotion/index.html
- ASPIC「ASP・SaaS・クラウドアワード2013」審査員委員長特別賞受賞。



Key Person

(青森県) NPO 法人地域情報化モデル研究会 代表理事／総務省地域情報化アドバイザー 米田 剛氏：官民連携など地域の様々な業態をオープンデータでつないでいくことで地域の新たな“協創価値の創出”に挑戦を続けていきたいと考え、「Webルートガイドサービス」の立ち上げを主導した。

<活動記事紹介>

日経オープンデータ情報ポータル

<http://opendata.nikkei.co.jp/article/201309304074558564/>



米田 剛氏

株式会社富士通システムズ・イースト <http://jp.fujitsu.com/group/feast/>

〒030-0192 青森県青森市大字野木字山口245-9富士通青森システムラボラトリ Tel.017-731-0565